



三つ柏

— MITSU KASHIWA NO.26 —

令和3年10月19日発行

5年生のスマートな授業は、こんなふうに行われました

今回（15日）行われたのは、「平均」の意味と求め方を学ぶ算数の授業です。家庭でのリモート授業を想定していますので、子どもたちは一人一人別の場所で学習しました。そして、タブレットの画面越しに次のことを行いました。

- 自分の意見や考えを先生や他の子に聞かせる。
- 他の子の発表を聞く。（どの子が手を挙げているか、どんな表情でいるかもわかる。）
- 同じグループの子と意見を交わしながら、グループで一つの文章や図にまとめる。
- 先生が作った評価問題に答える。（担任は結果をすぐに把握できる）
- 学習の振り返りの文を一覧表の自分の欄に記入する。（他の子の振り返りの文も読むことができる）



すごいのは、全員がこれらに関する機器操作を自力でできたことです。わからなくなって担任を呼ぶ子が出るのではと思いましたが取り越し苦労でした。担任が色々な授業でタブレットを用いたために力が付いたと思いますが、彼曰く、教えなくてもできるようになったことも多いとのことでした。リモート会議を普通に行っている保護者の方はこのような操作に慣れているかもしれませんが、アナログ時代代表のような私は、とてもかなわないと思いました。



☆撮影に来た先生方も、子どもたち

がタブレット操作が上手なことと熱心に学んでいることをとても誉めていました。